科目ナンバリング	U-LAS52 10001 LJ22						
授業科目名 <英訳>	博物館資料保存論 Museum Collection Preservation			担当者所属 職名・氏名	総合博物館　教授　村上　由美子 総合博物館　助教　竹之内　惇志		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	学芸員課程		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

学芸員養成課程に関する講義の一つで、博物館資料保存論について扱う。博物館における文化史、自然史、技術史などの一次資料の保存及びその保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得する。それを通じて、資料の保存に関する基礎的能力を養うとともに、博物館の資料を取り巻く現状についての理解を深める。

[到達目標]

学芸員資格に必要とされる博物館資料保存論の知識を習得する。

[授業計画と内容]

博物館における資料保存の意義（2回）
博物館資料の保存環境（5回）
・資料保存の諸条件とその影響（温湿度、光、振動、大気等）
・生物被害とＩＰＭ(総合的有害生物管理)
・自然史標本の保存（水銀等を含む標本の保存、標本ラベル保存の重要性）
・災害の防止と対策（火災、地震、水害、盗難等）
・伝統的保存方法
・収蔵、展示等の保存環境
資料の保全（4回）
・資料の状態調査・現状把握
・資料の修復・修理
・資料の梱包と輸送
環境保護と博物館の役割（3回）
・地域資源の保存と活用（エコミュージアム等）
・文化財の保存と活用(景観、歴史的環境を含む)
・自然環境の保護（生物多様性・種の保存を含む）
フィードバック（1回）

[履修要件]

学芸員資格取得希望者を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）と平常点によって評価する。両者の割合は５割ずつとして評価を行う。平常点は毎回提出する課題により授業への参加状況を評価する。

博物館資料保存論(2)へ続く↓↓↓

博物館資料保存論(2)

[教科書]

石﨑武志『博物館資料保存論　第2版』（講談社）ISBN:978-4-06-156503-6
　上記の教科書に即した内容のプリントを配布して授業を行う。教科書は復習にも使えるよう各自持っておくこと。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で習得した内容を、博物館などに出かけたときに現場で確認すれば、知識をより確実に身につけることができる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]